

長沼町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月 4日設置
平成21年3月17日連携計画策定



概要

長沼町は、町営バスが町内の公共交通の中心であるが、住宅が低密度に分散していることもあって、路線が長大となり、運行の効率性が低いため収益が低迷しているほか、農村地域においては、バス停までの距離が長く、公共交通空白地帯が多く存在していることから、デマンド型交通の導入、モビリティ・マネジメントの実施、商店街と連携したバス利用促進策の推進等により、公共交通空白地帯の解消や町内の公共交通の利便性の向上を図る。

デマンド型交通の導入(21～23年度)

- ・公共交通空白地帯の解消や高齢者の買物・通院等の日常生活における足の確保のため、21年度秋から段階的に、町中心市街地を軸に3区分した地域において、デマンド型交通導入の実証実験を行う。
- ・コンピューター車両の導入により、低コストのデマンド運行を実施することで、持続性の向上を図る。

モビリティ・マネジメントの実施(21～23年度)

- ・デマンド型交通の利用促進を目的にデマンド型交通の実証実験に合わせて、住民を対象とした運行方法や運行時刻の周知やアンケート調査における行動プラン法により、利用の促進を図る。
- ・定期的にニュースレターを発行し、事業への理解と進捗状況を周知する。

商店街との連携(22～23年度)

- ・バスの利用促進策として、バスを利用して買物にきた利用者に対して、バス運賃の割引や購入商品を割り引きする実証実験を行う。

